学校番号	T3036

令和８年度　学教養科

教科	学教養	科目	(学)ハンドクラフトＣ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント等、卓上機も使用						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では身近な素材に加えリサイクル素材などを活用したものづくりを行います。平面にこだわらない抽象的な造形を表現することに取り組みます。また、工芸分野、美術分野、写真などの様々な技法についても学びます。楽しみとともに自身の創造性を発揮し、作品を表現しましょう。

２　学習の到達目標

(1)抽象的な造形を行うことができる。
(2)身近に存在する素材で、作品制作ができる。
(3)身近な素材だけでなく、リサイクル素材などあらゆる素材に対する感性を発揮することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近な素材に加え、リサイクル素材なども活用し、平面・立体にこだわらない抽象的な造形を行うことができる。	素材に対する感性を発揮し、生活の中にある素材を自ら集め、作品の中に表現することができる。	身近なものを使って、ものづくりを行うことに対する関心をもち、製作を楽しむ中で、自主的に学び、向上しようとする。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Ｃの３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、Ｃの３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

4　学習の活動

月	単元・学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
10～11月	【アート作品から構想を深める】 生活の中にある素材を集める 素材からイメージを構想する アート作品の鑑賞、スケッチ 様々な技法を学ぶ	a:作品の質感、形、色彩が人の印象に与える効果について理解するとともに、アート作品のスケッチを描ける。 b:生活の中にある素材を集める中で、作品に対する構想を深めるとともに全体的なイメージを表現しようとする。 c:素材集めやアート作品の鑑賞、スケッチに対して関心をもち、取り組んでいる。	授業観察 ワークシート スケッチ作品	授業観察 スケッチ作品	授業観察 ワークシート
12～3月	【自由作品の制作】 造形の構想 制作 発表	a:工芸分野、美術分野、写真などの様々な技法を応用させて抽象的な造形の作品を完成させることができる。 b: 自由作品について、構想を深め、自分の意図を反映させ、伝えたいイメージを表現している。 c: 自由作品の制作について興味をもち、取り組んでいる。振り返りを通して評価・改善に努めようとしている。	授業観察 スケッチ作品	授業観察 スケッチ作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度